



第 38 期中間報告書

平成24年12月1日～平成25年5月31日

2013 BUSINESS REPORT

ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第38期第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
連結営業の概況	3
連結業績ハイライト	4
連結財務諸表	5・6
トピックス	7・8
会社の概要	9
株式の状況	10



平成25年8月
代表取締役社長 張能 徳博

連結営業の概況

当第2四半期連結累計期間（平成24年12月1日～平成25年5月31日）におけるわが国経済は、新政権下での大胆な金融緩和をはじめとする経済政策「アベノミクス」への期待感から円安・株高が進行し、景気の緩やかな持ち直し傾向が見られたものの、海外においては新興国の成長鈍化等景気の下振れリスクが残り、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような市場環境の下、当社グループは、コア事業に経営資源を集中し、継続的にコストコントロールおよび事業の構造改革を実施し、経営効率の改善に取り組みました。

商社事業においては、マルチヘッドプリンタの開発を行っていましたが、本開発計画を中止し事業の再構築を実施することが、当社グループの成長戦略の上で必要不可欠であると判断いたしました。

その他の事業においては、輸送用リサイクルプラスチックパレットの販売単価下落や販売数量が減少傾向にある中、経営効率を高めるために、事業の構造改革を実施することといたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,990百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業損益は36百万円の利益（前年同四半期は194百万円の損失）、経常損益は254百万円の利益（前年同四半期は95百万円の損失）となりました。四半期純損益は、事業構造改善費用を特別損失として258百万円計上したこと等から、7百万円の損失（前年同四半期は156百万円の損失）となりました。

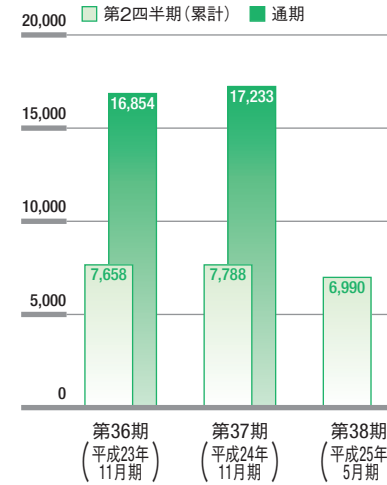
当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金、商品及び製品、前渡金が増加したことによるものであります。固定資産は8,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ817百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が増加したことによるものであります。その結果、総資産は16,664百万円となり、前連結会計年度末に比べ957百万円増加いたしました。

流動負債は5,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金、未払費用が減少したものの、前受金、事業構造改善引当金が増加したことによるものであります。固定負債は1,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ185百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が減少したことによるものであります。その結果、負債合計は6,733百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円減少いたしました。

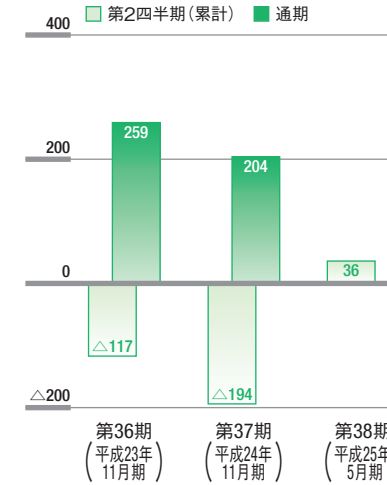
純資産については9,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,088百万円増加いたしました。これは主に、資本剰余金が配当により減少したものの、円安傾向により為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。その結果、自己資本比率は59.0%（前連結会計年度末は55.8%）となりました。

連結業績ハイライト

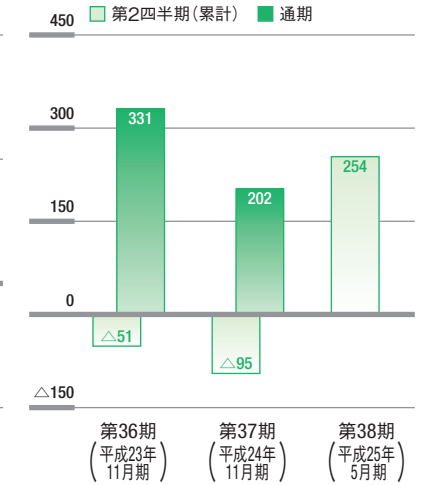
■ 売上高（単位：百万円）



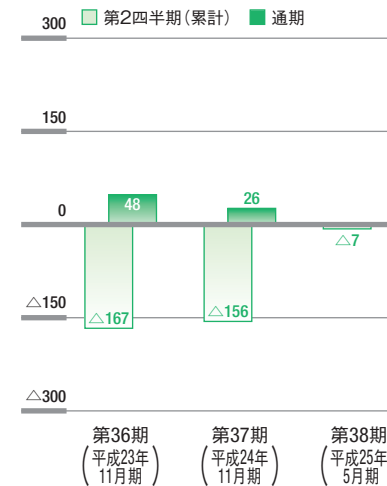
■ 営業損益（単位：百万円）



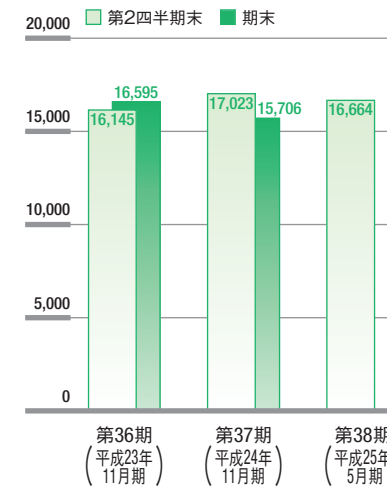
■ 経常損益（単位：百万円）



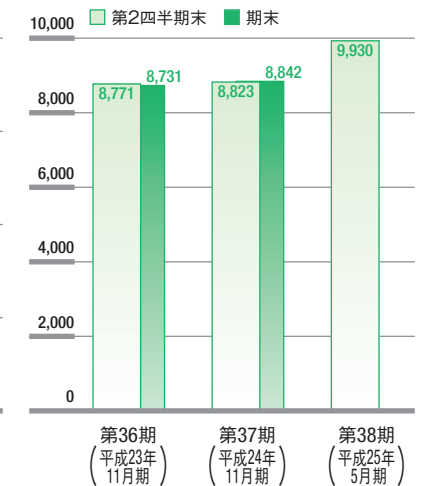
■ 当期純損益（単位：百万円）



■ 総資産（単位：百万円）



■ 純資産（単位：百万円）



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前連結会計	科 目	当第2四半期	前連結会計
	連結会計期間末	年度末		連結会計期間末	年度末
	(平成25年5月31日現在)	(平成24年11月30日現在)		(平成25年5月31日現在)	(平成24年11月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	8,476,129	8,335,883	流動負債	5,541,457	5,486,516
現金及び預金	3,251,908	2,493,585	支払手形及び買掛金	1,711,715	1,778,077
受取手形及び売掛金	2,082,354	3,284,701	短期借入金	1,329,847	1,537,095
商品及び製品	1,762,771	1,542,337	1年内償還予定の社債	20,000	20,000
原材料及び貯蔵品	383,550	327,814	未払費用	296,235	453,784
前渡金	541,362	354,507	未払金	239,114	305,183
繰延税金資産	7,328	2,119	未払法人税等	36,090	35,061
その他	477,204	364,953	前受金	1,586,323	1,259,523
貸倒引当金	△30,350	△34,137	リース債務	73,730	58,394
固定資産	8,187,923	7,370,889	受注損失引当金	2,511	2
有形固定資産	5,886,828	5,028,351	事業構造改善引当金	196,771	—
建物及び構築物(純額)	2,016,636	1,353,656	繰延税金負債	23,608	14,070
機械装置及び運搬具(純額)	2,533,668	2,207,373	その他	25,508	25,322
土地	79,170	79,170	固定負債	1,192,203	1,378,202
リース資産(純額)	205,786	205,974	社債	40,000	50,000
建設仮勘定	336,217	559,883	長期借入金	882,926	1,087,967
その他(純額)	715,350	622,293	繰延税金負債	109,402	83,327
無形固定資産	549,157	447,602	リース債務	152,314	149,917
ソフトウェア	21,217	28,149	その他	7,559	6,989
その他	527,940	419,453	負債合計	6,733,661	6,864,718
投資その他の資産	1,751,937	1,894,935	純資産の部		
投資有価証券	262,254	329,122	株主資本	9,286,642	9,351,187
関係会社出資金	1,120,513	1,001,732	資本金	5,527,829	5,527,829
長期貸付金	30,420	31,020	資本剰余金	2,252,219	2,309,494
長期預金	—	200,000	利益剰余金	1,729,407	1,736,659
敷金及び保証金	195,899	193,252	自己株式	△222,814	△222,796
繰延税金資産	8,891	26,478	その他の包括利益累計額	540,037	△587,745
その他	140,757	127,693	その他有価証券評価差額金	34,842	2,934
貸倒引当金	△6,798	△14,364	繰延ヘッジ損益	18,719	9,023
			為替換算調整勘定	486,476	△599,703
資産合計	16,664,053	15,706,773	少数株主持分	103,712	78,612
			純資産合計	9,930,392	8,842,054
			負債純資産合計	16,664,053	15,706,773

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	連結累計期間	連結累計期間
	(平成24年12月1日から平成25年5月31日まで)	(平成23年12月1日から平成24年5月31日まで)
売上高	6,990,909	7,788,345
売上原価	5,617,702	6,621,150
売上総利益	1,373,207	1,167,195
販売費及び一般管理費	1,336,257	1,361,548
営業利益又は営業損失(△)	36,949	△194,353
営業外収益	300,291	213,407
営業外費用	82,834	114,573
経常利益又は経常損失(△)	254,406	△95,519
特別利益	193,832	99,563
特別損失	395,092	129,899
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	53,146	△125,855
法人税、住民税及び事業税	31,381	29,111
法人税等調整額	25,091	△1,799
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,325	△153,166
少数株主利益	3,925	3,431
四半期純損失(△)	△7,251	△156,598

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	連結累計期間	連結累計期間
	(平成24年12月1日から平成25年5月31日まで)	(平成23年12月1日から平成24年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,352,198	783,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,153	△317,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822,403	52,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	243,679	110,550
現金及び現金同等物の増減額	758,322	629,682
現金及び現金同等物の期首残高	2,493,585	2,778,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,251,908	3,408,374

話題の商品

3Dプリンタ

アルテックが2008年にイスラエルのオブジェクト社製の3Dプリンタを販売開始してから約5年が経ち、今まさに、3Dプリンタはあらゆるメディアで毎日のように紹介され大注目を浴びています。

これまでプリンタと言えば、2次元で、読み取ったデータを紙に「複製」するものでした。3次元のプリンタも、形あるものをデータに基づき精巧に「複製」するという点は同じですが、立体物が3Dプリンタの中でゼロの状態から数時間で「出現する」こと、そして使う人の頭の中のオリジナルなアイデアが、データ化して3Dプリンタにインプットするだけでその通りの形となって現れる一まさに「創造」という領域まで到達した一ことについて、プリンタの既成概念、モノづくりの既成概念が一気に塗り替えられたといっても過言ではないと思われます。

3Dプリンタが多くの人に知られるところとなり、メーカーは競って高性能機の開発や様々なユーザー層の開拓を行っています。イスラエルのオブジェクト社がアメリカの大手ストラタシス社と昨年末に合併したことにより、アルテックでも従来のポリジェット方式に加え、FDM方式（熱溶解積層方式）の3Dプリンタの販売を始めました。ポリジェット方式は液体アクリル樹脂を噴射し最



「Objet500 Connex」(ポリジェット方式)と造形品(試作モデル)

小16 μ の極薄積層をしていく方法で、滑らかかつ微細な表現が可能です。一方FDM方式は、産業用プラスチック樹脂を高温で溶かし積層していく方法で、強度や耐熱性に優れたモデルの造形が可能です。

アルテックは、今後もお客様の事業の様々な場面において、3Dプリンタによる新たなモノづくりが最大限に生かされるようなご提案を行ってまいります。



「Fortus400」(FDM方式)と造形品(実用品)

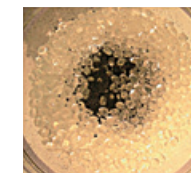
新規取扱商品のご紹介

共振技術を利用した画期的ミキサー「RAM」の販売を開始

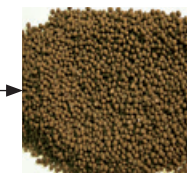
アルテックは、アメリカのモンタナ州のメーカーであるレゾデザイン アコースティック ミキサーズ社と日本における独占販売代理店契約を締結し、従来物質の混合に欠かせなかった攪拌羽根を使わない、共振技術を利用した世界初のミキサー、「RAM」の販売を開始しました。

「RAM」の原理は、装置の上下の振動幅を共振により調整し、混合物の容器内に音響圧力波を伝播させ、容器内に多数の微小な混合セルを発生させます。これにより、気体、液体、高粘度物質、固体、粉末など、同質・異質のあらゆるものを短時間で完全に混合させることができます。

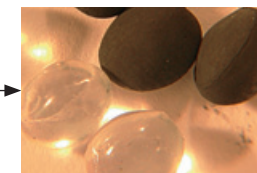
また、「RAM」の構造と使用方法はとてもシンプルです。混合対象物を入れた密閉容器を装置にセットしてスイッチを押すだけで混合を開始し、終了後はその容器を外すだけです。装置自体が汚れることはないので、攪拌羽根を用いたミキサーのような洗浄は不要、密閉容器を使用するので異物混入もありません。



ペレットと粉末の混合



混合開始後8秒



混合後の状態

ペレット粒子を粉末がきれいにコーティングしているのがわかります。



500ミリリットルサイズラボ用
「LabRAM」



20リットルサイズ
「RAM 5」

モノとモノの混合という基本的な工程はあらゆる産業で行われています。この「RAM」は、混合精度の高さ、外部の影響を大幅に排除した動作環境、混合およびその前後工程の所要時間の大幅短縮といった特徴から、今後は医薬業界、化粧品業界、電子部品業界、セラミック業界、燃料電池等の先端科学業界等、分野を問わず導入いただける商品として販売に注力してまいります。

会社の概要

■ 会社の概要 (平成25年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
 設立年月日 昭和51年5月15日
 資本金 5,527,829千円
 従業員数 131名 (グループ全体532名)
 所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
 住友入船ビル2階

■ 役員 (平成25年5月31日現在)

代表取締役社長 張 能 徳 博
 取締役専務執行役員 瀧 川 賢 一
 取締役執行役員 阪 口 則 之
 取締役執行役員 陶 山 秀 彦
 取締役執行役員 池 谷 壽 繁
 取締役執行役員 片 山 浩 晶
 社外取締役 中 尾 光 成
 社外取締役 富 永 宏
 常勤監査役 菅 原 正 則
 社外監査役 平 岡 繁
 社外監査役 石 川 剛

執行役員 井 上 博 行

- (注) 1. 平成25年6月28日付で社外取締役中尾光成氏、富永宏氏は辞任いたしました。
 2. 平成25年7月18日開催の臨時株主総会において、豊島絵氏が社外監査役として選任されました。
 3. 平成25年7月18日付で社外監査役平岡繁氏は辞任いたしました。

■ 事業別グループ会社 (平成25年5月31日現在)

事業区分等	会社名
商社事業	アルテック株式会社
	愛而泰可貿易(上海)有限公司
	ALTECH ASIA PACIFIC CO.,LTD.
	PT. ALTECH ASIA PACIFIC INDONESIA
プリフォーム事業	アルテック株式会社
	愛而泰可新材料(蘇州)有限公司
	愛而泰可新材料(広州)有限公司
	江門愛而泰可新材料有限公司
	PT. ALTECH
愛而泰可新材料(深圳)有限公司	
その他の事業	アルパレット株式会社

株式の状況

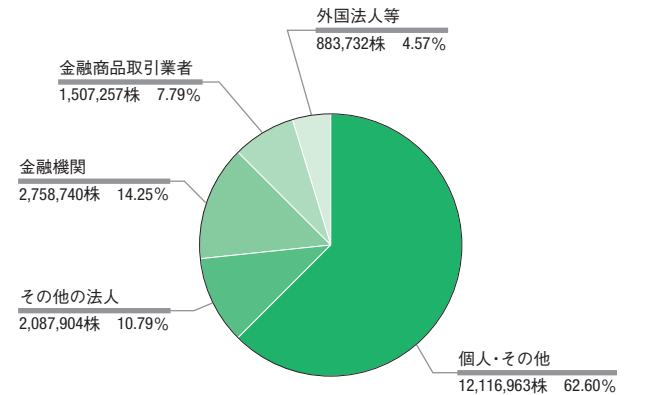
■ 株式の状況 (平成25年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 19,354,596株
 株主数 6,165名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
フェニックス・キャピタル・パートナーズ・スリー投資事業組合	2,797,700	14.65
日本証券金融株式会社	974,300	5.10
竹内エムアンドティ株式会社	900,000	4.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	505,920	2.64
由利和久	500,276	2.62
フィリップ証券株式会社	396,600	2.07
株式会社アルミネ	391,000	2.04
村永八千代	387,076	2.02
鳴瀬正雄	268,000	1.40
竹内正明	247,000	1.29

- (注) 1. 当社は、自己株式262,939株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
 2. 持株比率は、自己株式262,939株を控除して計算しております。

所有者別分布状況



WEBサイトのご案内

<http://www.altech.co.jp/>

アルテック株式会社の最新の情報を掲載しています。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月
期末配当金受領株主確定日	11月30日
中間配当金受領株主確定日	5月31日（中間配当を実施する場合）
株主名簿管理人 （特別口座の口座管理機関）	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 （郵便物送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告の方法	電子公告により当社のホームページ (http://www.altech.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

アルテック株式会社

〒104-0042 東京都中央区入船二丁目1番1号 住友入船ビル2階
tel ☎ 03-5542-6760 ホームページ ☎ <http://www.altech.co.jp/>



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と植物油インキを使用しています。